



「鯉の泳ぐまち」 はじまり物語

さらさらと流れる澄んだ「水」。
それを彩る色鮮やかな「鯉」。

この美しい光景は、このまちの人々がたくさんの
想いをこめてつくりあげたものです。

全長100メートルの水路を生かしたまちづくりが
できないか、子供たちの豊かな心を育てるために
なにができるのか。

二つの想いをつなげたのは「湧水(わきみず)」と
「鯉(こい)」でした。

昭和53(1978)年7月、新町の水路に鯉を放流。

その後も町内会が中心となり、島原市民の協力で
毎年5月に「鯉」を放流しています。

水の都島原を彩る場所として鯉の泳ぐまちでは、
今日も鯉が悠々と尾びれを揺らしています。

アクセスマップ



交通 アクセ ス	●島原港—熊本港……………熊本フェリー／約30分、九商フェリー／約60分
	●島原港—大牟田(三池)港………高速船／約50分
	●多比良港—長洲港……………有明フェリー／約45分
	●島原—福岡……………高速バス／約3時間
	●島原—諫早—福岡……………島原鉄道／(急行)約50分～ 諫早駅～JR／(特急)約1時間45分

information



湧水庭園 四明荘

入 館 料／大人300円・小人150円
未就学児無料
営業時間／9:00～18:00
休 館 日／なし
問合せ先／TEL 0957-63-1121



しまばら湧水館

入 館 料／無料
かんざらし作り体験／300円
営業時間／9:00～18:00
休 館 日／なし
問合せ先／TEL 0957-62-8102



観光交流センター 清流亭

営業時間／9:00～18:00
休 館 日／なし
問合せ先／TEL 0957-64-2450

お問い合わせ

株式会社 島原観光ビューロー

島原市観光案内所 TEL.0957-62-3986
島原城天守閣事務所 TEL.0957-62-4766

長崎 島原
Nagasaki Shimabara

鯉の泳ぐまち Koi No Oyogu Machi



「鯉の泳ぐまちあるきマップ」

島原市の市内中心部・新町一帯には、全長100メートルに及ぶ水路が流れ、その水路には、色とりどりの錦鯉が放流されています。風情ある街の中を縫うように流れる水路で、錦鯉が優雅に泳ぐ様は、水の都・島原を代表する景観のひとつ。澄んだ湧水が流れる風景に、せせらぎの音、心まで洗われるような散策スポットです。



観光交流センター

清流亭

観光案内や、休憩スペースのほかに地場産品の展示販売もあり、お土産探しにぴったりの立ち寄りスポット。池の上に建てられた建物は、床がガラス張りのエリアがあり、足元で泳ぐ大きな錦鯉の姿が楽しめます。また、四明荘の入館券の購入も可能。

多言語案内板 ①～⑯

「清流亭」を始め「しまばら湧水館」「四明荘」の中と周辺に20ヵ所設置しております。看板は日本語ですが、Web上で多言語対応しており、テキストだけではなく音声で案内してくれます。QRコードとNFC対応で「日本語」「英語」「韓国語」「中国語」「台湾公用語」の5ヵ国語。

島原半島フリーWi-Fi

島原半島を訪れる国内外のお客様にご利用いただけるフリーWi-Fiです。マップ点線上のエリアにてご利用いただけます。利用時間は、1回最大20分間(1日12回まで)です。ご利用には「メールアドレス」または、「SNSアカウント」によるご登録が必要です。



しまばら湧水館

●国登録有形文化財

鯉の泳ぐまち中心部にある無料の休憩所です。昭和初期に建てられた屋敷を利用した休憩所では、島原の湧水を使った伝統的なスイーツ「かんざらし」手作り体験もできます。所要時間は30分程度。せせらぎを聞きながら、「かんざらし」のもちっとした白玉と甘い蜜でひとやすみ。散策途中に立ち寄りたいスポットです。



湧水庭園

四明荘

●国登録記念物 ●国登録有形文化財

鯉の泳ぐまちに静かに佇む「四明荘」は、1日3,000トンもの湧水が自噴する池を利用して建てられ国の登録有形文化財になっています。湧水池には錦鯉が優雅に泳ぎ、赤松や楓といった緑豊かな植栽が季節の彩りを添えます。湧水池のあまりの透明さに、「鯉が宙に浮いている」と海外でも話題になったほど。湧水地にせり出した縁側からは、今まさに地中から湧き出ている水の様子を眺めることができます。

